5/10日(月)フィリピン株式市場

PSEi 6,258.71

前日比 -24.07 (-0.38%)

Key Philippine Indices						
	Close	Ch	% Ch			
PSEi	6,258.71	-24.07	-0.38			
All Shares	3,877.43	-2.22	-0.06			
Financials	1,390.35	-7.44	-0.53			
Industrials	8,628.65	+18.37	+0.21			
Holdings	6,22.53	-42.47	-0.68			
Services	1,444.40	+18.98	+1.33			
Mining and Oil	9,588.36	+136.89	+1.45			
Property	3,044.26	-29.98	-0.98			

▶️市場の概要

弱い雇用統計にもかかわらず、米国市場は史上最高値を更新。 株価が急上昇 4月の雇用者数は26万6千人で、エコノミストが予想した100万人を大幅に下回った。

投資家は、労働市場の回復が遅れていることから、FRBが緩和的な政策スタンスを維持すると予想している。 これにより市場は上昇した。

Market Statistics					
	Value (in PhP M)				
Value Turnover	4,298				
Net Foreign Transactions	(638)				
Advancers	104				
Decliners	106				
Unchanged	35				

- ·失業率 (5月6日)
- ·GDP発表 (5月11日)
- ·BSPミーティング(5月13日)

■決算発表

5月10日 MWC, AGI

5月11日 LTG

5月13日 PGOLD

5月14日 AC, DMC, EAGLE

▶市場の見通し

PSEi:ブレイクダウン、6,200、6,150のサポートを試す

PSEiは先週、6,325の支持線を下回り、次の支持線である6,200と6,150を試す可能性が高い。

景気回復が脆弱であることから、市場の低迷が続いている。

一方、指数構成企業のうち15社が第1四半期の決算を発表し、半数が予想を下回った。

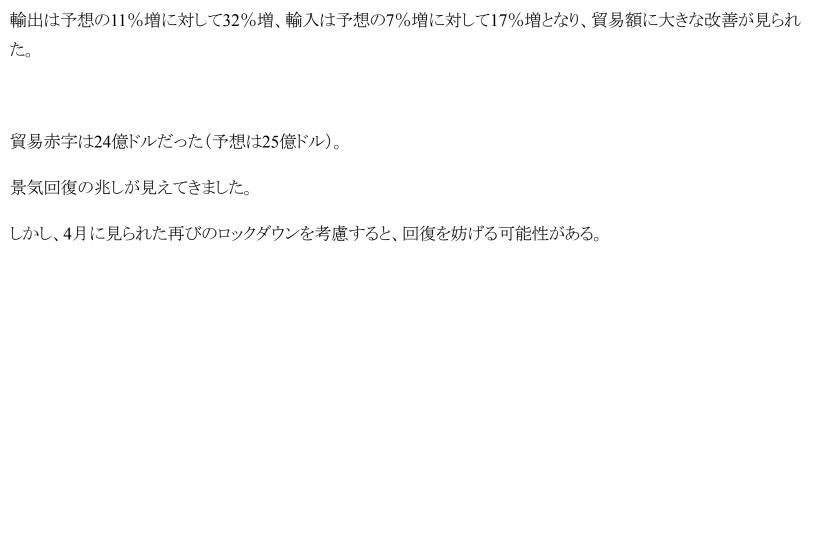
注目すべきは今週のGDPは、5四半期連続で縮小すると予想されているため、注目が集まっている。					
≥ 本日の経済ニュース					
第1四半期のGDPは3.2%の縮小の可能性					
21年1QのGDPは、より速いペースで縮小した可能性がある。					
前週の予想では-1.7%~-3.5%の縮小だったが、最新のコンセンサスでは-3.2%の縮小となった。(高値:1.3%、					
安値:-4%)となった。					
しかし、これは2020年第4四半期の数値よりも大幅に改善しており、経済が徐々に再開されるにつれて、前期比で					
改善していることを示している。					

ペソは引き続き強含み
フィリピンの景気回復が予想を下回ったことから、ペソの対米ドルレートは引き続き上昇。
景気が悪いということは、輸入量が減ることを意味し、その結果、必要ドル数が減少する。
一方で、世界経済の回復を背景に、今年の送金額は回復すると予想され、年間で3%の増加が見込まれている。
輸入額は前年同期比6%減の160億ドル(2月:3%増)となり、景気の回復が弱いことを示している。 そのため、このことは、同国が緩やかな経常黒字を維持することにつながる。

▶本日の経済ニュース②

▶本日の経済ニュース①

3月は輸出、輸入ともに回復した



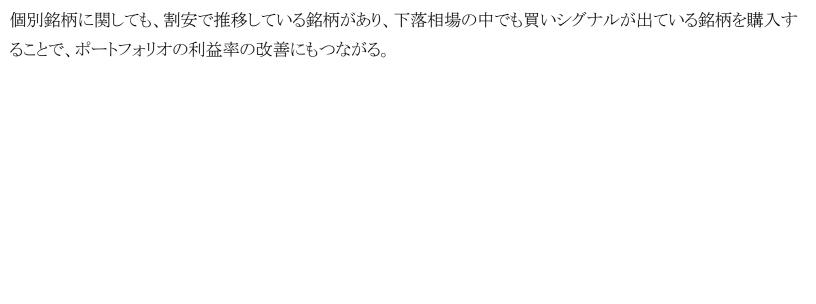
解說

経済指標が続々と発表されており、この1年の経済の冷え込みが顕著になった。

それでも21年1Qは、未だ経済の正常化には程遠いものの、少なからず経済回復の兆しが見られ徐々に正常化に向けて動き出す可能性がある。

しかし、コロナによるロックダウンが再発令される可能性もあり、それによっては株価のさらなる下落も予想される。

コロナのワクチン確保はすでに完了しており、国民のワクチン接種の進捗によって今後の株価の動きが大きく変わると言っても過言ではない。



【皆様へ】

デイリーレポートに関して、分からないことや聞きたいことがあれば、気軽にお聞きくださいませ。

会員様限定で現地のプロアナリストを招いて、皆様のためにセミナー解説もしております。

ストックマスターズは、皆様にご参加していただくことで、より良いサービスになっていきますので、皆様からのご質問心よりお待ちしております。